



「発達保障のための相談活動」を拡げる学習講演会

主催 NPO 法人 発達保障研究センター

〒169-0051 新宿区西早稲田 2-15-10 西早稲田関口ビル 全障研気付
発達保障研究センター 電話 080-4332-2601

今回の
テーマ

重症児者のライフサイクルを 支える教育・療育・地域生活支援

事例報告では、すでに特別支援学校を卒業して生活介護に通い、あるいはグループホームで生活する2人の青年の乳幼児期、学齢期、青年期の発達と生活を振り返り、教育・療育、地域生活支援、相談支援のあり方を検討します。

講演では、見えにくい重症児の本当の願いや発達要求を、だれでもできる発達診断の方法によって見出すための視点について学びあいます。

教員、療育施設、成人施設、放課後支援の職員、保護者に、ぜひご参加いただきたい学びの場です。

日 時

2018年3月4日(日) 10:00~16:30 (9:30 受付開始)

会 場

龍谷大学瀬田キャンパス (滋賀県大津市) 2号館 120教室

参加費 2,500円

*日曜日のためキャンパス内でレストランの営業はありません。
昼食はご持参ください。

*JR 瀬田駅から湖南帝産バスをご利用ください。

自家用車での来場希望の場合は申込書にご記入ください。

午前

◆事例検討 1

「重症児の育ちと家族の生活の過程、その節々で必要だった発達相談を語る～幼少期にどんなプロに出会うかで親子の人生が決まる～」小川真奈美さん(滋賀・保護者)

特別支援学校を卒業した今、グループホームと生活介護で青年期らしい生活を築いています。発達相談員との対話の過程と、娘さんへの愛情をはぐくんできた道程を語っていただきます。

午後

◆事例検討 2

「重症心身障害をもつ19歳の息子の育ちと支援の課題」高橋真保子さん(大阪・社会福祉法人コスモス コスモス研究所/大阪成蹊短大非常勤講師)

自らが発達相談にも携わる児童発達支援センターの職員であった経験から、生活のなかで発達を理解する視点、療育や教育、作業所の実践への期待を、保護者の思いを重ねて提案していただきます。

◆講演

「重症児の発達診断と生活創造」白石正久さん(龍谷大学)

発達診断の方法を研究する立場から、重い機能障害の背後にある真の発達の姿を見出す視点と方法、発達要求に応える生活や実践のあり方を提案していただきます。

◆グループトーク

◆まとめと課題提起 池添 素さん(特定非営利活動法人 福祉広場)

申込書・問合せは NPO 法人 発達保障研究センター

電話 080-4332-2601 E-mail: npocenter@nginet.or.jp